

City in *Manhattan Transfer*

『マンハッタン乗換駅』における都市

A Thesis

Presented to

The Faculty of the Department of English

Konan University

In Partial Fulfillment

Of the Requirements for the Degree

Bachelor of Arts

by

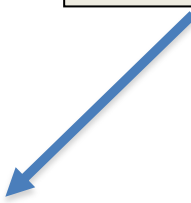
Taro Konan

甲南太郎

19612xxx

January 20XX

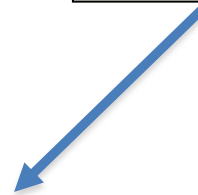
「挿入」 > 「区切り」 >
「セクション区切り」
(セクションを区切るとページ番号を振り直すことができます)



目次

Abstract	i
序論	1
第1章 都市のメタテキストとしての小説	X
第2章 「アメリカン・ドリーム」の誕生	X
第3章 ギャッツビーの「夢」とその崩壊	X
第4章 作品の構造と分析	X
結論	X
注	X
参考文献	X

「挿入」 > 「区切り」 >
「セクション区切り」
(セクションを区切るとページ番号を振り直すことができます)



Abstract

This is the abstract page, which should be written in English. The indent for each paragraph should include 4–5 spaces, unlike in Japanese (where you use only one space for indentation).

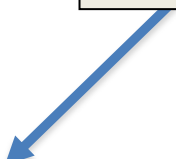
Abstract is supposed to summarize the whole thesis. You first start with stating the topic and the research question addressed in the thesis.

Then you move on to introduce the organization of the thesis. Abstract should consist of about 250-300 words (=about one page in this format).

See the Sotsugyo Ronbunshu for actual examples.



「挿入」>「区切り」>
「セクション区切り」
(セクションを区切るとページ番号を振り直すことができます)



「挿入」>「ページ番号」
(ローマ数字)

序論

ジョン・ドス・パソス (John Dos Passos, 1896–1970) の『マンハッタン乗換駅』 (*Manhattan Transfer*, 1925) の作品評価には、概括しにくいところがある。一方には、この小説を左翼的社会批評とみなす観点があって、たしかに、もっぱらストーリーに注意して読むならば、人間のつくりだした巨大なシステムであるメトロポリスによって人間白身が裏切られてゆくさまざまなケースを、この小説から読み取ることができる。にもかかわらず、登場人物たちの造形が理にはまった不自然なものだ、という不満もしばしば提起されてきた。ところで、他方には、新しい手法を駆使した傑作という評もあった。シンクレア・ルイスは出版当時の書評で、『マンハッタン乗換駅』はスタインやプルーストや、ジョイスの『ユリシーズ』とくらべてもあらゆる意味で重要であると主張し、“But the difference! Dos Passos is interesting!”

(Lewis 68) と言った。しかし、「面白く読める」 (interesting) ぶんだけスタイルの実験の前衛性が皮相であったことは今日のみからみて明らかである。いまあげたどちらの立場をとってみても歯切れの悪い評価をうながす契機は作品自体に内在していた。

ところで、みずからの帰属を示すインデックス、すなわち住所を持たない流れ者はこの都市ではどんな運命をたどるのであろうか。『マンハッタン乗換駅』第一部の狂言回しとっていいバト・コーペニングは、田舎で父親を殺して逃げてきた男で、職にも落ち着き場所にもありつけないことが運命づけられているような人物である。

州の北部からやってきた彼は、まず 130 丁目の
上で隣合った男に、“Say, friend, how fur is it into the city from where this ferry lands?” (4)
とたずねる。すると男はこう答える。

「挿入」 > 「ページ番号」
(アラビア数字 / 1 から振り直す)

“That depends where you want to get to.

“How do I get to Broadway?[. . .] I want to get to the center of things.”

“Walk east a block and turn down Broadway and you’ll find the center of things if you walk far enough.”

“Thank you sir. I’ll do that.” (4)

「そりゃあどこまで行くかにもよるわな。」

「ブロードウェイへはどういうふうに行くんでしょうか。...おいら、町のどまんなかへ行ってえんだが。」

「東へ1ブロック歩いて、ブロードウェイを下っていきやあどまんなかよ、だ
いぶ遠いがな。」

「ありがとうございました。そうしてみます。」

彼はこの会話に呪縛されたかのように、職を探しながらブロードウェイを南下してゆく。道順は簡単である。というのも、マンハッタン島を斜交いに縦断するこの大通りはニューヨーク市の中で最も古い道で、もとをただせばインディアンの踏み分け道だった。南端の集落から島の奥深くまで分け入ってゆく通路だったのである。



「挿入」>「区切り」>
「改ページ」
(「卒論集」とは違い、実際の卒
論では章ごとに改ページします)

第1章 都市のメタテキストとしての小説

ブロードウェイを南下することは、ニューヨークの歴史をさかのぼってゆくことであると同時に、市の心臓部（the center of things）への道行きであり、人生の成功への道程であって当然だった。市庁舎をすぎ、ボウリング・グリーンを越え、バッテリー・パークにたどりつけば、自由の女神が迎えてくれるはずだったが、彼はいつのまにか道を失ってしまっていた。結局、行き着いたのは「中心地」ならぬローワー・イーストサイドの簡易宿泊所であった。彼はある明け方、チャタム広場の食堂で腹だけはいっぱいにしてふらふらとブルックリン橋のほうへ歩いてゆき、ブルックリンの町のうしろから太陽が昇るのを見る。そして、市会議員になり、燕尾服を着て、花嫁と白い馬車に乗ってゆく自分の姿を夢想しながら、橋から身を投げてしまう。



「挿入」＞「区切り」＞
「改ページ」
（「卒論集」とは違い、実際の卒
論では章ごとに改ページします）

注

- 1 John Dos Passos, *Manhattan Transfer* (New York: Harper & Brothers, 1925) 25. 以下、
『マンハッタン乗換駅』からの引用は同書により、ページ数を本文中に記す。なお、
この小説からの引用を翻訳するに当って、『ドス・パソス』新集世界の文学 36（東
京、中央公論社、1969 年）所収の西田実訳を参考にした。
- 2 小説本文の記述ではフェリー埠頭の位置がはっきり記されているわけではないが、
この小説の細部の多くが現実の事物にもとづいていることを考えると、バトが下船
した埠頭は 130 丁目に実在したフェリー埠頭に楠当する。*The United States with an
Excursion into Mexico: Handbook for Travellers*, 3rd ed. (Leipzig: Karl Baedeker, 1904) 17 参
照。



「挿入」>「区切り」>
「改ページ」
（「卒論集」とは違い、実際の卒
論では章ごとに改ページします）

参考文献

I. 第一次資料

Dos Passos, John. *Manhattan Transfer*. New York: Harper & Brothers, 1925.

----. *Manhatttan Transfer*. Introduction by Jay McInerney. New York: Penguin Books, 1986.

西田実記『マンハッタン乗換駅』大橋健二郎・西日実記『ドス・パソス』新集世界の文学 36 所収 東京、中央公論社、1969 年、3－366 頁。

II. 第二次資料

Delaney, Edmund T., and Charles Lockwood. *Greenwich Village: A Photographic Guide*. New York: Dover, 1976.

Federal Writers' Project. *New York Panorama*. New York, 1938;rpt., New York: Pantheon, 1984.

Kenner, Hugh. "The Urban Apocalypse." In *Eliot in His Time*. Ed. Walton Litz. Princeton: Princeton UP, 1973.

Kouwenhoven, John A. *The Columbia Historical Portrait of New York*. New York: Harper & Row, 1972.

Maine, Barry, ed. *Dos Passos: The Critical Heritage*. London: Routledge, 1988.

Tichi, Cecelia. *Shifting Gears: Technology, Literature, Culture in Modernist America*. Chapel Hill: The U of North Carolina P, 1987.

Trachtenberg, Alan. *Brooklyn Bridge: Fact and Symbol*. 2nd ed. Chicago: The U of Chicago P, 1979.

The United States with an Excursion into Mexico: Handbook for Travellers. 3rd revised ed. Leibzig: Karl Beadeker, 1904.

Willis, Carol. "Skyscraper Utopias: Visionary Urbanism in the 1920s." In *Imagining Tomorrow: History, Technology, and the American Future, 164-87*. Ed. Joseph Con. Cambridge, Mass.: The MIT Press, 1986.

赤根和牛『ピート・モンドリアン——その人と芸術』改訂新版 東京、美術出版社、1984 年。

荒このみ「オフ・プロニドゥエィの『共和国』」『アメリカ研究』26（1992 年）、109—24 頁。

『エドワード II』ビデオカセット 監督：テレク・ジャーマン！原作：クリストファ・マーロウ、音楽：サイモン・フィッシャー・ターナー、衣装：サンデイ・パウエル アップリンク、ULV—038、1991 年。